

環境リサイクル肉牛協議会第 20 回総会
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 11 回通常総会

議事録

5月18日(土) 午前10時00分～ 帯広畜産大学 逍遙舎

会議次第

1. 総会成立の要件 出席者数 15 会員参加 委任状数 13 合計 28 有効成立率 88%
2. 開会挨拶 島村理事長より
20周年・NPO 法人移行 11 周年 になりました。良く続いているという印象です
これから 2018 年度事業報告及び 2019 年度事業 意見議論を深めたいと思います。
3. 議長選出：島村理事長
議事録署名人 1 名：左先生
書記 1 名選出：岩崎
4. 議事
 - 1) 第 1 号議案 2018 年度事業報告及び収支決算に関する件
事務局より別紙 説明
 - 2) 第 2 号議案 2019 年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 3) 第 3 号議案 そのほか
 - ①役員改選 2019～2020 年度 2 年任期
 - ②そのほか
5. 閉会

第 1 号議案

I. 2018 年度事業報告

1. 2018 年度会員募集 (2019 年 3 月末)

個人会員 18 名 (+1：個人会員 1 名増 西部氏)

団体会員 13 団体(±0) 合計 31(+1)

内訳)	生産者・生産者団体	11
	食肉流通業者	2
	消費者団体	1
	学研・指導機関	11(+1)
	飼料業者	6

2. 総会・理事会等の開催

1) 2018 年度第 19 回総会(NPO 法人第 10 回通常総会)

2018 年 6 月 2 日(土) 午前 10 時 00 分から ランチョ・エルパソ

出席 12 名委任状 6 有効成立率 18/30=60%

・ 2017 年度事業報告・決算報告

・ 2018 年度事業計画・予算

以上承認

・役員改選なし 2017～2018 年度 2 年任期

2) 理事会

- 第1回 2018年6月2日(土) ランチョ・エルパソ総会前打合せ
- 第2回 2018年11月7日(水) シンポジウム前日打合せ
- 第3回 2019年1月25日(金) 新得町 北海道畜産試験場研修施設
①シンポジウム総括 ②新年度事業

3) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催

1) 学術情報の収集

- 関連加入団体 8ヶ所 年会費 35,000 円 (情報交換)
- 肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左先生)
- 日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左先生)
- 日本産肉研究会 (東北大学大学院農学研究科 5,000 団体加入)
- 畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房氏窓口)
- 北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左先生)
- 北海道肉牛研究会 (道総研 畜産試験場 3,000 花房氏窓口)
- 北海道アンガス牛振興協議会(内藤会長 3,000 花房氏窓口)
- 北海道オーガニックビーフ振興協議会(帯広市 10,000 花房氏窓口)

2) 肉牛飼養技術研修会の開催

第1回 6月2日(土) 午前10時00分からランチョ・エルパソ参加 12名
北里八雲牛～草資源で生産・販売・研究する牛肉

北里大学獣医付属 FSC 八雲牧場 小笠原 英毅講師

第2回 1月25日(金) 新得町 道総研 畜産試験場 参加者 25名

AI を活用した牛群管理の現状

テザミス株式会社 有田浩次郎氏

釧路市下仁々志別牧場調査報告ーアンガス牛有機牛肉生産ー
道総研畜試 肉牛G 佐藤幸信氏



4. 第15回資源循環型肉牛生産シンポジウム2018

日本産肉研究会(第22回学術集会)と初めて共同開催しました

テーマ：「家畜の福祉と牛肉生産」

日時：2018年11月8日(木) 13:00-17:00：帯広畜産大学 講堂

内容：

- 1) 基調講演 「家畜の福祉と肉牛生産」 (株)グッドテーブルズ 山本謙治社長
- 2) 話題提供 1.「欧州諸国の有機畜産とアニマルウェルフェア関連法制との位置付け」
立教大学経済学部 大山利男准教授

話題提供 2. 「アニマルウェルフェアの評価基準」帯広畜産大学 瀬尾哲也准教授

話題提供 3. 「有機畜産の理想と現実」北里大学 FSC 八雲牧場 小野泰係長

話題提供 4. 「大自然を家庭の食卓に『ボーンブロス・八雲』について」

公式通販ショップルルド 諸江栄美代表

話題提供 5. 「赤身評価の最近情報」帯広畜産大学 口田 圭吾教授

3) パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

4) 意見交換会 eビーふ大しゃぶしゃぶ焼肉パーティー 帯広畜産大学 逍遙舎
口田研究室協力食味試験 90名参加（予定50名より大幅参加増）

5) 現地検討会：11月9日(金)大樹町 (株)坂根牧場 アニマルフェア認定酪農家

参加者数：

- | | |
|-----------|------|
| 1) シンポジウム | 160名 |
| 2) 意見交換会 | 90名 |
| 3) 現地検討会 | 33名 |



5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 月刊情報誌「eビーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発行 12回発行配信
- 2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。
ホームページ <http://www.e-beef.jp/>事務局アドレス kanrikyo@e-beef.jp
見易い様に構成を修正中（TY ネット編集依頼中）

6. 「eビーふ」認証事業 定款5条1-①

- 1) 新たなeビーふ認証農家の発掘できず。：中身の見直し含めて畜産試験場
佐藤理事と認証制度検討中。アニマルウェルフェア等情報収集して検討。
内藤・宮北・北の牧場舎含め
- 2) 「eビーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：eビーふ事業化2018/6開始
ホルズ経産・黒毛和経産 再肥育など
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会との連動

8. 2018 年度収支決算報告

収入の部

項 目		予 算	決 算	備 考
1)会費・入会金	個人	108,000	96,000	今年度分 16 人 内過年度分 0 人
	団体	260,000	260,000	今年度分 12 団体 内過年度分 1 団体
	入会金			
2)寄付金	シンポジウム協力金	160,000	160,000	日本産肉研究会、北ア協、北短協
	事業助成金	26,000	0	十勝農協連
3)助成金				
4)事業収入	普及活動事業参加費	240,000	306,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
		60,000	0	e-びーふ格付@4,000
5) その他の収入		90,000	45,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰り越し金		279,673	279,673	
合 計		1,223,677	1,146,677	

支出の部

科 目		予 算	決 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	50,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	100,000	88,558	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	100,000	0	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	500,000	463,952	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	130,000	180,240	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	10,000	0	理事旅費・事務局交通費
	通信費	2,000	6,172	NTT 電話代、郵送料
	会議費	30,000	22,500	総会経費
	備品・消耗品費		0	
	賃借料		0	
	手数料	60,000	60,864	会計処理料, 会計ソフト freee 竹川会計)
	予備費	86,677	20,000	震災お見舞い金(内藤、宮北 北海道地震)
合 計		1,068,677	842,286	
繰越金		279,673	304,391	
預金	北洋銀	393,505	258,221	
現金		11,168	14,170	
前払い費用		0	0	
(小計)		404,673	272,391	

未収入金		30,000	32,000	18 年度会費未納
売掛金		0	0	
合計		434,673	304,391	
未払金				
預り金		155,000	0	左理事から北の牧場舎へ資金移動
繰越金		279,673	304,391	
合計		434,673	304,391	

監査報告

2018年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されている事を認めます。

2019年5月18日

監事 内藤 順介

監事 奈良岡 武任

奈良岡氏より監査報告：適正処理報告。

拍手にて参加者承認されました。

第2号議案

Ⅱ. 2019年度事業計画

1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

新規加入 個人：十勝農協連 西部参与

宮崎氏（退会）・長内氏・西尾氏（ノベルズ）退会可能性

2. 総会・理事会の開催

1) 2019 年度第 20 回総会(NPO 法人第 11 回通常総会)

2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。

2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。

年 2 回開催予定

3) JAS 有機の格付委託業務（北里 FSC 八雲牧場からの受託、有機牛の肉質調査）

北里大学より依頼対応（花房氏）

4. 第 16 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019 の企画・開催

定款5条1-④ 別紙開催企画書添付

シンポジウムテーマ「スマート農業による肉牛生産の展望」

日 時：2019 年 11 月 7 日(木) 13:00-17:00

会 場：とちぎプラザ（帯広市）2 階 視聴覚室 （会場予約済）

内 容：（13:00-17:00）

1. 基調講演 「我が国におけるスマート農業の将来と展望」 大学院教授
※北海道大学野口先生 難しい場合→北里大学もしくは農研機構へ依頼
□田先生より農研機構へ問合せ依頼。
 2. 話題提供 1.「資源循環型牛肉生産の現状と課題」
未定：
話題提供 2.「有機畜産と AI 活用 実践例」津別有機酪農研究会会長石川賢一氏
JA 津別 有機酪農スタート GPS 活用
話題提供 3.「IoT 技術の肉牛生産への活用事例」(株)デザミス
デザミス 講演～事例 農家の方含めて依頼。
話題提供 4.「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」
司会 帯広畜産大学 教授 □田圭吾氏と受賞生産者
 3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表
 4. 意見交換会 eびーふ 試食会（18:00～）ホテルグランテラス帯広（場所未定）
食味試験 （17:30～18:00） 帯広畜産大学 □田研究室主催
 4. 現地検討会：11月8日(金)
十勝管内実践例を視察希望。（北の牧場舎 デザミス機械導入予定など）
5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤
- 1) 「eびーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年 12 回
 - 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。
6. 「eびーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①
- 1) 新たな eびーふ認証農家の発掘
 - 2) 認証適格農場の実態調査
 - 3) 「eびーふ」の商標の活用
7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③
- 1) 飼料事業の検討：eびーふ事業化推進
 - 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

8. 2019 年度予算案

収入の部

項 目		前年度決算	予 算	備 考
1)会費・入会金	個人	96,000	102,000	今年度分 17 人 6,000
	団体	260,000	130,000	今年度分 13 団体 10,000 今まで団体 2 万円→1 月理事会
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	160,000	60,000	北ア協、北短協
	事業協力金	0		
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加費	306,000	300,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
	賦課金	0	80,000	e-びーふ格付@4,000/賦課金発生予定
5) その他の収入		45,000	45,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰り越し金		279,673	304,391	
合 計		1,146,677	1,021,395	

支出の部

科 目		前年度決算	予 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	88,558	100,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	100,000	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	463,952	400,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	180,240	130,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	30,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	6,172	10,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	22,500	30,000	総会経費
	備品・消耗品費	0		
	事務経費	0	60,000	北の牧場舎(事務経費を計上開始)
	手数料	60,864	60,000	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	20,000	51,395	
合 計		842,286	1,021,395	
差引		304,391	0	
預り金		0	0	
繰越金		304,391	0	
合計		304,391	0	

1) 団体会費 1 万円への変更承認

- 2) 事務経費 計上承認
- 3) 現地検討会 北の牧場舎視察で決定
黒毛和経 再肥育/ホルス経産肥育 等 デザミス試験内容等
ほかに、肉牛農家 川西 太田農場等 現在使用中。デザミスはファームノートに比べ
比較価格下げて～使用増、頭数増えてデータ精度が上がってきている

第3号議案 その他

1. 協議会の運営体制

- 1) 総務担当 協議会の運営、会計事務/クラウド会計 freee (事務局)
- 2) NPO 法人会計事務 事務局+外部委託：竹川会計事務所(竹川税務対応)
- 3) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事)
- 4) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
- 5) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)
- 6) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (事務局)
- 7) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)→具体的検討
- 8) 補助事業申請・運営 (事務局：アイデア検討)
- 9) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
- 10) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催(畜試・事務局)

事務局体制の充実：事務局高齢化に伴い若い世代へバトンタッチしたい。相談

2. 肉牛事業について

- 1) e-びーふ経産牛の肥育事業；
2019/6月 きのe-びーふ 初出荷(肥育状況次第)ホルス未経産～

3. 役員改選について

島村理事長より 今年71歳 緑内障 長距離運転厳しく(雄武～5時間)役員会厳しい
今回退任してお願いしたいと依頼中

事務局アイデア：

NPO 法人 左先生へ2年間依頼し、その後体制立て直しを検討、副理事長 島村氏
理事 8名、事務局案が了承されました。

そのほかの質疑応答

- ◆e-ビーフ 設定内容 基準化～認証飼料85% 遺伝子組み換え無→認証方法～自己認証
アニマルウエルフェア等/オーガニックとは違うが自給率50%超え～高めの基準でも
□草地協会含めて機能していない～E-ビーフ 流通のテーマに繋がるのか？
□緩やかな消費者団体～窓口を広げる事可能性
アンガス・ホルス経産同じくくりではないが、経産肥育～出荷に対する把握機能など
→現実的に魅力感じて 生産増える～広がりもてるような基準が必要では
□配合飼料主体の飼育管理をおかしいと思っている人は多い。

11:00 より肉牛飼養技術研修会/佐藤理事司会進行